

●**城陽市環境フェスタ 11日河川レンジャーも出店** 実行委員会から昨年に引き続き出店依頼があつて、深田さんを筆頭に千島さんや播川さんが古川の水質調査や竹蛇籠の取組みの展示発表を行いました。そして子供たちに大人気の松かさツリー作り体験も開催しました。出展ブースは30店舗を超えていました。日曜日は11月とは思えない温かさで、まさに紅葉の秋、行楽の秋にふさわしい好天気でした。

●**ふれあい土木展 9・10日近畿地方整備局主催** 前日準備には竹蛇籠3本を運び込みました。会場には淀川河川レンジャーの皆さんが、足湯体験やスローロープ投げ体験場作りに忙しくしておられました。13時に事務所を出発して長尾通を北上、平日にもかかわらず渋滞続きで予定時刻をはるかに過ぎての到着となりました。適当な場所に蛇籠の設置場所をお任せして退出しました。

9日は播川さんがガイド役を買っていただきました。村上さん南良さんも応援いただきました。播川さんには職場仲間の方々も来られて旧交を温めるいい機会のようでした。10日は播川さん深田さん大釜さん小林君がガイドを務めていただきました。若者には無関心者が多かったのですが、高齢者の皆さんにはずいぶんと関心をお持ちのようでした。なかなか人気がありました。2日間で100名以上の皆さんに開設をお聞きいただきました。河川レンジャーコーナーでの取組みに扱われました。

●**三川合流さくらであい館でのガイド案内 11日** 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会が「さくらであい館」のホールの一角にコーナーを設けて、付近のガイドをしよう、ということでこの日が初日でした。約20人の方々から声がかかり、楽しいひと時を過ごすことになりました。見ず知らずの方々との話を気楽に聞くことは、なかなか面白いことだと思いました。

●**会誌45号印刷製本作業 12日** 昨年もこの時期の製本作業は時間的に非常に厳しいものがあります。原稿の集まりも思うように進まないのが重ねて困難です。それでも115ページの45号が印刷製本できました。「さとやまの会」機関誌として全会員さんに取り組み内容をまとめてお届けできるので、大切な記録です。研究調査のコーナーや講演会報告は読みごたえのあるものです。日程が合わず参加できない皆様には良い読み物ではないでしょうか。次号46号には全会員さんからご寄稿をお願いいたします。

●**中聖牛への通路復旧工事始まる** 昨年、中聖牛を設置した玉水浜(15.2km地点)までは玉水橋から500mは草が生い茂る中、洪水があれば足元はなかなか大変で苦勞をしてきました。中聖牛の点検のための通路が9月末に完成したのですが、直後の増水で完成した通路が流されてしまいました。今年も中聖牛3基の増設計画をしているのですが、通路の完成を大喜びしましたが、残念な出来事でした。しかし11月初旬から通路の復旧工事が開始されました。11月下旬に完成するという事です。12月8・9日には中聖牛の組立になり材木の持ち込みになります。そして40トンもの玉石の運び込みと運搬、そして竹蛇籠への投入が続きます。通路の完成によって、予定通りに完成の見込みが立ちました。しかしこの通路が出来ると心無い単車利用者の無謀な運転が目立って格好の練習場になり始めました。単車運転練習場ではなく蛇籠での生き物調査や点検を目的にした通路なので無謀な侵入は控えていただきたいと思っています。大切な通路なので大切に使いしていきたいものです。

●**河川協力団体の使用道具収納庫実現** 昨年10月に河川協力団体に認定されて、木津川の希少植物の植生調査管理業務が委託されました。この業務には、27カ所1,800平方メートルの除草業務が含まれています。除草機械(ハンマーモア)の収納場所に不自由をしていましたが、除草機械の置き場所が確保できました。今後この場所を作業出発の拠点として使うことが可能になりました。お世話をいただく皆様、作業にご効力をいただく皆様の拠点として役立つことと思います。

●**「白土山洞窟ルート」横断幕出来る** 念願の白土山への探検ルートが「里山の会」の努力で完成しました。17日(土)の10時50分に完成式と披露を行います。普賢寺地域に新しい名所が生まれました。このルートをぜひ一度は歩いていただきたいものです。普賢寺地域は植物や生き物の宝庫で、京田辺市の素晴らしい環境を誇っています。国蝶オオムラサキの生育があり、絶滅寸前種のカスミサンショウウオの生育が確認され、植物にも昆虫にも爬虫類にも大きな役割を果たしています。いずれも「NPO やましろ里山の会」が発見

してきました。こうした資料もしっかり掲示する教育棟と掲示場も完成しました。楽しい里山農園での野菜栽培にも取り組んでいます。17日は完成式をお茶会で始め、ルートへのガイド、資料掲示物の開設、そして冬野菜の間引き体験等楽しい取り組みを計画しています。ふるってご参加ください。お弁当持参をお願いします。しっかりした山用靴が適切かと思えます。また杖もご用意いただくと安全かと思えます。

●**白土山洞窟ルート台風 21 号による倒木や折れ枝の除去にひと汗流す** 17日の完成披露のために準備を進めてきましたが、続いた台風によって、倒木が随分とあって準備が大変でした。金田さん森島さんが連日行って、手すりや階段設置、ガイドロープ張りで大奮闘いただきました。随分と安全対策を行っていただきました。本当にご苦労様でした。安全対策に取り組んでいただいたご苦労をしっかりと見定めていただければありがたいところです。お気づきの対策があればご提言下さい。出会う植物や樹木の名札の取り付けなどもお手伝いいただけるとありがたいです。

●**教育棟の榆の木が過日の台風で倒れました。**また今年の台風で倒れてきた枯れ木の処分が急務でした。なんとか伐採を行ったのですが、何しろ重量があり、根っこには土がこびりついていて除去がスムーズに行えていません。かなりの人数での対応が必要です。17日の完成式にお越しの皆さんの力で処分できればと思います。開会式 10 時 50 分までに処理できればと思います。10 時にお越しください。跡地の整理を行います。加えて、南の道の笹除去も行って拡幅も行う計画です。年末のオオムラサキの観察、春の七草摘みの準備にもなりますので、お手伝いをお願いします。一仕事して一服のお茶を楽しみましょう。近頃少し気温が下がって冬支度が始まり木々落葉が進んでいます。屋外での活動ですので温かい服装でのお越しください。

●**教育棟への階段づくり進める** 里山農園で、中の道がメイン通路ですが、農具、物入小屋から教育棟への急な登り階段は有田さんが7年前に作り上げたものが老朽化しています、飲料水のような重いものの持ち上げに苦労しています。修理改良してほしいと女性から声が上がっています。有志のお手伝いをお願いします。カケヤと杭と土留め板は用意します。

●**白土山洞窟ルート完成し披露の会にこぞってご参加を** すべての会員にお誘いの案内の声掛けと電話をかけて下さい。この日のために農園のスタッフの皆さんがルート整備や草刈りに精を出して随分と手入れが行き届きました。皆さんのお越しをしています。準備作業は9時から始まります。開会式披露は10時50分と予定しています。各自弁当ご持参くださいね

●**京田辺市環境パートナーシップ フェスタ 18 日(日)10 時～15 時** 田辺中央公民館に出店します。担当は播川さん深田さん森島さん大村さん大釜さん青代さんの6名です。お子さん向けの工作体験がいろいろ準備されています。

●**尾根筋ハイキングコース** イノシシの出没で荒れに荒れている。特に朱智神社から三国坂までの部分がひどい状態だと吉村尊成さんが事務所にご連絡いただきました。12月23日、普賢寺小学校の恒例のハイキングが予定されているので心配と連絡いただきました。

●**竹蛇籠製作場の後始末が完了** 蛇籠用の割竹の始末及び太い大型の未使用の竹 50 本が未処分として残っていました。蛇籠製作が終了して1週間が経過したころ、テレビや電気ストーブが不法投棄されました。このままだとさらに不法投棄が続くことが懸念されます。14日に深田さん青代さんのご奮闘できれいに復元できました。8月末から10末日までの長期間にわたってご奮闘いただきました皆様ご苦労様でした。次は12月8・9日の中聖牛組立作業です。設置されると当日から玉石40トンの投入です。そして12月15日16日の中聖牛完成竣工式へと続きます。一連の最後の作業で最大の難関が玉石の小運搬と玉石の投入作業です。これは年末日程の詰まっている中で松美組さんにご無理をお願いして、中聖牛の設置予定地までの小運搬(500m)を引き受けていただきました。後は玉石投入の人手が、どれだけ集められるかということになります。中聖牛の完成にご関心を持っていただいている皆さん12月9日(日)自らの参加と可能か限り人手をお集めいただきたいのです。そしてその後平日になりますが、15日を目指して平日の玉石投入にご協力をお願いいたします。2018年の最大の大事業「中聖牛3基増設」をやり上げて年納としようではありませんか。